

組合長)は「多少は上げてほしかった、との希望はあった」とする一方、「総交付対象数量も含めた据え置きや、脱脂粉乳などの需給安定推進事業に予算が組まれたことについては、評価したい」と話した。

幕別町で酪農を営む男性は、「餌代や人件費などが上がり、支出は2割近く増えている」。据え置きには「こ

この部分だけ変わらず、というのは正直厳しい」と話す。

鹿追町の酪農家は、「これからは、良い餌を牛に与えて良質な牛乳を供給したい思いと、コストとの戦いに挟まれる経営になる」と吐露した。

農業団体

十勝高島と合併 新J A十勝池田町が発足 販売高74億円規模に

2021年3月1日

J A十勝池田町とJ A十勝高島が1日付で合併し、新J A「J A十勝池田町」が発足した。同日午前11時から町内の田園ホールで発足式が行われ、新役員・理事、来賓など63人が新しい船出を祝った。

◆組合長に鈴木氏

発足式前に理事会が開かれ、新J Aの代表理事組合長に旧J A十勝池田町組合長の鈴木雅博氏(61)を選任、その他新役員を決めた。

発足式の開会に当たり、鈴木組合長が1989年に利別、池田両J Aが合併して十勝池田町が誕生した歴史を振り返り、「新たな心で結束を図り、真摯(しんし)に営農に取り組む組合員、地域の皆さまに信頼され、頼りにされる新たな農協組織として役職員一丸となり、総力を挙げて取り組む」とあいさつした。

来賓の水戸部裕十勝総合振興局長、安井美裕池田町長、小野寺俊幸J A道中央会会長、有塚利宣十勝地区農協組合長会会長が祝辞。

最後に合併奨励金の目録が贈呈され、新J A副組合長理事の八木英光氏(66)=旧J A十勝高島組合長=が「池田農業がさらなる発展を遂げ、組合員の負託に応えていくことを誓う」と閉会のあいさつを述べた。

合併に伴い、J A十勝高島は同日解散した。新J Aの正組合員数は391人。理事は18人、監事は7人。農畜産物販売取扱高は計画値で74億8,300万円を見込む。

道内のJ Aの合併は、15年のJ Aびらとり(J A平取町とJ Aとみかわ、日高管内)以来6年ぶり、十勝では05年のJ Aあしよと足寄町開拓農協の合併以来16年ぶり。

新J Aの役員は次の通り。(敬称略)

▽代表理事組合長=鈴木雅博

▽副組合長理事=八木英光

▽常務理事(融資審査担当)=大塚節

▽参事兼務理事=成田吉浩

▽信用担当理事=折笠大輔(信用部部長)

▽部長兼務理事=塚本弘明(購買部部長)

▽理事=十河学、丸山馨、林忠司、八田英司、多田彰弘、萬範夫、坪坂好郎、増野隆教、塚谷亨、稲垣勝義、米津昇、横山博幸

▽代表監事=武田茂

▽監事=高橋敦、久保恵昭、中村仲宏、丸山隆、神谷雅之、赤松明彦



新J Aの理事の顔ぶれ。右から3人目が鈴木組合長、同4人目が八木副組合長